

1. はじめに

大規模な災害時、真っ先に深刻となるのは物資不足です。特に、災害発生からの3週間は水や食糧などの必要不可欠なものが不足します。そのため、これを避けるために事前に準備しておく必要があるのです。

しかし、調査[1]によると「防災グッズを準備している」家庭は4割に留まり、半数近くの家庭が「考えているもののまだ準備していない」のが現状です。

そこで、私達は防災グッズの準備・管理を簡単にできるようにし、災害初期の物資不足を「被災者同士が助け合う」という方法によって、解決するアプリケーション「むすぶっし」を開発しました。

2. システム概要

本アプリのシステム構成を図1に示します。大きく分けて、各ユーザーのスマートフォンと、私たちの用意したWebサーバーから構成されています。

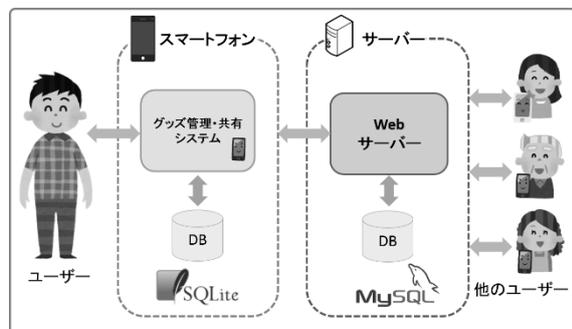


図1 システム構成図

3. 機能概要

3.1 防災グッズ管理

グッズ管理画面では用意した防災グッズの名前、現在の所持個数などを入力し、一覧表示します。消費期限が近づくと端末上に通知し、非常食などが無駄になるのを防ぎます。(図2右)

また、「何を用意すればいいかわからない」という人のために、初期設定時に家族構成と備蓄日数から何をどれだけ用意すれば良いのかを示すテンプレートを作

成します。(図2左)



図2 管理機能

3.2 防災グッズ共有

防災グッズの共有を有効化するために、ユーザー名、郵便番号、連絡先の情報を登録します。郵便番号は検索の際に、近くに住んでいる人を検索するためのみに使用します。また、連絡先は防災グッズの共有が成立した場合に、互いに連絡をとる手段として相手に通知されるものです。

共有させるグッズに関しては、編集画面の「共有する」にチェックを入れることによって、他のユーザーから検索できるようになります。

3.3 防災グッズ交渉

グッズ検索画面では、共有されているグッズを、名前またはカテゴリで検索することができます。ユーザーはその中から欲しいものを選び、必要な量を入力して、相手に依頼を出します。

グッズ共有画面では、自分の出している依頼を取り消したり、相手からの依頼を承諾するか否かを選択したりできます。依頼が承諾された場合、お互いの連絡先が相手に表示され、グッズ受け渡しに向けて実際にやり取りをしていくことになります。

4. おわりに

本システムは、日本人古来の「助け合い精神」を活かした物資不足解決を目指します。

5. 参考文献

[1]<http://www.asahigroup-holdings.com/company/research/hapiken/maian/bn/201208/00430/>